



陸上競技部

一個々の実力が光る

本学陸上競技部は関東理工系対校陸上競技大会に出場した。男女で総合優勝を決めた陰には、各選手活躍がある。▽男子1000m 海老原雄輝(A科4年)▽男子2000m 真田知幸(PH科4年)▽

1000m決勝を1位で走り終えた海老原雄輝。秋本篤弥撮影



男子1100mハードル・男子4000mハードル 熊田凌(MA科4年)▽女子1000m 井上珠希(CV科3年)がそれぞれ1位となった。このほかにも多くの選手が2位、3位となり、総合優勝に向けて得点を伸ばした。大会一日目は曇天の中で競技が行われた。一日を通して涼しく、風もほとんどなかったため、競技者にとつては厳しい環境だった。

ただろう。午後に行われた男子5000mでは、雨に濡れながら走る選手にトラック外から大きな声援を送られた。閉会式では男女ともに総合1位として本学の名前が読み上げられ、歓声が上がった。会場では、他大学の学生の会話から「理科大」という言葉が聞こえてきた。本大会での本学の存在感の大きさを感じた。

水泳部

全国大会で健闘

9月1日から3日にかけて東和薬品ラクトアドーム(大阪府門真市)で行われた第93回 日本学生選手権水泳競技大会に、水泳部が出場した。出場種目と選手は▽1000m バタフライ 山田拓実(MS科4年)▽500m 自由形 大枝幹(PH科4年)▽1000m 平泳ぎ 今川雄洋(OB科3年)▽1000m 背泳ぎ 長谷川航大(TM科3年)▽200m 個人メドレー 西川直樹(MS科3年)▽500m 自由形 中田愛海(S科3年)▽500m 自由形 長尾健太(E科2年)▽4×100m メドレーリ

レー 長谷川航大(背泳ぎ)・今川雄洋(平泳ぎ)・山田拓実(バタフライ)・長尾健太(自由形)であった。中でも4×100mメドレーリレーは3分53秒98を記録し、出場52校中35位と健闘した。

水泳部部長であり、1000m背泳ぎと4×100mメドレーリレーに出場した長谷川航大さんは「会場はとても広く、全国大会独特の雰囲気でした。理科大の部員の結果としてはあまり良くはなかったですが、全国の強豪が集う中で緊張もありました、みんな



関東学生選手権(横浜国際プール)での今川雄洋。秋本篤弥撮影

バドミントン部

緊張感に包まれた攻防戦

9月13・14日と18日に専修大学第一体育館(川崎市多摩区)にて、関東大学バドミントン秋季リーグ戦が行われた。本学バドミントン部男子は3部Bリーグに所属している。当リーグは立教大学、千葉商科大学、作新学院大学、東洋大学、専修大学に本学を加えた計6大学で構成される。全5戦を終えての結果は3勝2敗であった。初日の専修大学戦では、最初のセットをとつたものの苦戦を強いられた。東洋大学戦では序盤から相手を圧倒した。取材中、本学の選手を応援



1100mハードル決勝で大会新記録14秒25を記録した熊田凌(左)。秋本篤弥撮影

弓道部

女子は好感 男子は今後に期待

弓道部は8月12日から14日にかけてグリーンアリーナ神戸(兵庫県神戸市)で開催された全日本学生弓道選手権大会に出場した。本大会では、男女それぞれが団体戦で予選に挑み、女子は上位24校入りを果たし、決勝トーナメントの二回戦まで進んだ。

女子団体競技の様子 =弓道部提供



平成30年度リーグ戦に参戦している。本学の代表として是非頑張りたい。



対立教大学戦にて。秋本篤弥撮影

▼本学バドミントン部男子の対戦成績

東京理科大学	1 - 4	専修大学
東京理科大学	5 - 0	東洋大学
東京理科大学	3 - 2	立教大学
東京理科大学	3 - 2	千葉商科大学
東京理科大学	2 - 3	作新学院大学

理科大も学園祭やっってるの？

ミス・ミスターコンをはじめ、理大祭の注目イベントを新聞会が総力取材します！！

今年も理大祭直前号(10/26)・理大祭速報号(11/19)発行



東京理科大学新聞会

理大祭当日の取材・理速号への広告出稿大募集中！

HP <http://tuspress.jp> Email tuspress@gmail.com Twitter @tuspress